

国際万博加盟国へ カジノ万博反対の要請をしましょう

～～カジノ問題を考える大阪ネットワークからのお願い～～

日頃のご活動に敬意を表します。私たちは、2013年から「大阪にカジノはいらない」と活動している団体です。

大阪府と大阪市は、2025年に、埋め立て地である夢洲に万博を誘致しようとしています。昨年11月15日には、博覧会国際事務局（BIE）で2度目のプレゼンテーションがおこなわれ、BIE現地視察団の来日が、この3月にせまっています。

ご承知のように、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに計画がすすめられている大阪万博は、テーマとはうらはらに、カジノを主体とする「IR（統合型リゾート）推進事業」と一体化したものです。半年の万博終了後には、カジノだけが残ります。

3月の現地視察のあと、6月の第3回プレゼンテーションをへて、11月には、170か国の加盟国による投票がおこなわれます。判断のさいには、地元市民の誘致意欲のつよさも、重要な基準になるとのことです。

そこで、皆様にご協力をお願いします。私たちは、国際万博に加盟している170か国のうち、日本に大使館のある国に、別紙の要望書を送っています。皆さまにも加盟国の在日本大使館・領事館あてに、別紙「要望書」をご送付くださいませんか。とりわけ万博事務国である12カ国（中国・韓国・ドイツ・ベラルーシ・フィンランド・ハンガリー・モナコ・スイス・モロッコ・UAE・イラン・マダガスカル）と前事務国の5カ国（バングラディッシュ、トルコ・スペイン・カザフスタン・ウズベキスタン）、そして2025年の万博に立候補しているロシアとアゼルバイジャン計19カ国に送っていただくと効果があると思っています。新旧事務国の7割は賭博を禁じるイスラム教徒が多い国です。

私たちが送った要請書と、団体名を記入していないものを同封しております。用紙をご活用いただけたら幸いです。

また、昨年7月14日付女性団体が『読売新聞』『朝日新聞』に掲載した意見広告を同封いたしました。

2018年2月吉日

カジノ問題を考える大阪ネットワーク

代表 桜田照雄（阪南大学教授）

連絡先

〒530-0047 大阪市北区西天満4丁目5番5号

マーキス梅田301号大阪いちょうの会気付

TEL06-6361-0546

事務局長 薮田ゆきえ（080-3836-3771）